

横浜市開港記念会館 令和8年度（2026年度）事業計画及び収支予算書

1. 施設の概要

施設名	横浜市開港記念会館
所在地	中区本町1丁目6番地
構造・規模	地下1階、地上2階
敷地・延床面積	延床面積 4,425.97 m ²
開館日	2024年4月1日

2. 指定管理者

指定管理者	ソーシャルアカデミックマネジメント
代表者名	株式会社神奈川新聞社 代表取締役 須藤 浩之

代表団体：株式会社神奈川新聞社	
所在地	横浜市中区太田町二丁目23番地
代表者	代表取締役 須藤 浩之
構成団体：学校法人神奈川大学	
所在地	横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号
代表者	理事長 石渡 卓
構成団体：相鉄企業株式会社	
所在地	横浜市西区北幸二丁目9番14号
代表者	代表取締役 齊藤 淳

3. 指定管理に係る考え方

(1) 基本方針

開港記念会館周辺は、横浜公園・大通り公園・山下公園などの都市部公園や横浜文化体育館・横浜スタジアムといったスポーツ施設、国内外の観光客の玄関口となる客船ターミナル、創造界隈拠点など、港町の歴史と文化に基づいた様々な魅力があり、旧横浜市庁舎跡地周辺の開発も進んでいます。

当団体は、施設の持つ歴史の重さ、建築、復旧に携わった方々の思い、開港記念会館に愛着を持つ区民の思いを深く理解し、新たな街づくりが始動している中、施設の果たすべき役割を実現させるため管理運営の5つの基本方針の基、歴史的建造物のファシリティマネジメントを推進し、運営面では区民が利用しやすいサービスの提供、施設の歴史的魅力を最大限活用、産学連携からの新たな取組、周辺施設と連携した観光、賑いの取組を促進し、中区のまちづくり目標に向け取組んでまいります。

(2) 実施方針

実施方針においては大きく2つの方針を立て取組みます。

一つ目は公会堂としての役割を果たすための方針として、公平、公正の観点の基、利用者に寄り添い、誰もが利用しやすい多様な受入れ体制を整えソーシャルインクルージョンの理念をもって取組みます。

二つ目は施設周辺の特有な観光エリアに位置づいている中で、観光施設としての役割を果たす方針として、歴史的建造物の魅力を味わって頂く取組と、同時に近隣歴史的建造物管理者との連携や、周辺で開催されるイベント等との連携を通じ港と街の回遊性を高め、施設周辺の魅力創りに寄与してまいります。

公会堂としての役割、観光施設としての役割の両輪を軸にして取組んでまいります。

4. 管理運営について

国の重要文化財に指定されている開港記念会館では、区及び文化庁との維持管理計画の透明性がとても重要であると考えます。月次報告による保守点検の進捗および結果の報告はもちろんのこと、日々の点検の中で発見された不具合に関しても集約を行います。また、重要性に応じてすぐに報告および対応方法を相談し堅実な管理を徹底いたします。

・日常モニタリング

日常の建物・設備状況について、日報やチェックリストを用いた現地職員によるモニタリング

・エリアマネージャーモニタリング

業務内容、管理内容、品質状況についてエリアマネージャーによるモニタリング

・スーパーバイザーモニタリング

維持管理業務について、施設管理のスペシャリスト Supervisor によるモニタリング

また、利用者サービス水準の維持・向上、利用促進計画として、ホームページ機能の充実、SNSによる情報提供、地元メディアを活かした広報を展開し、情報発信力の強化を図ってまいります。また、利用者のご意見、要望、苦情等は管理運営において、より良い施設作りにつながる大切な情報であるため、幅広い方法でニーズを抽出し、各種会議等における実現方策の協議と実施、スタッフに対する研修等により継続的な利用者サービス向上を図ってまいります。

・利用者アンケートの実施（年1回）

・ホームページ問合せフォーム（随時）

5. 施設運営に関する業務計画

1. 開館日数

347日（休館日：月1回の設備点検日、年末年始6日間）

2. 目標稼働率

施設名	稼働率	備考
講堂	71.0%	
会議室	71.0%	

3. 人員配置

項目	人数	備考
館長	1名	
維持管理担当者	1名	
運営スタッフ	3名	
受付スタッフ	9名	

4. 勤務体制

館長、維持管理担当者

項目	時間	備考
早番	08:30~17:00	

運営スタッフ

項目	時間	備考
早番	08:30~16:30	3名でのローテーション制 ※運営状況により勤務時間は前後する場合あり
遅番	14:15~22:15	

受付スタッフ

項目	時間	備考
早番	08:30~13:30	9名でのローテーション制
中番	12:45~17:45	
遅番	17:00~22:00	

6. 施設の管理に関する業務計画

業務内容	実施者
------	-----

空調機点検（GHP）	委託により実施（東京ガス）
空調機（GHP、EHP） 点検・フィルター清掃等	委託により実施（ニッタエアソリューションズ）
消防設備点検	委託により実施（プロデイ）
電気設備点検	委託により実施（関東電気保安協会）
害虫駆除点検	委託により実施（シーアイシー）
エレベーター点検	委託により実施（フジテック）
自動ドア点検	委託により実施（神奈川ナブコ）
飲料水水質検査	委託により実施（シーアイシー）
空気環境測定	委託により実施（シーアイシー）
ライトアップ用投光器点検	直営
グランドピアノ点検・調律	委託により実施（ヤマハミュージックジャパン）
舞台関係点検	委託により実施（ステージシステム）
植栽管理業務	委託により実施（グリーンプラザ）
清掃業務	委託により実施（共立ビルサービス）
廃棄物処理	委託により実施（藤ビルメンテナンス）
機械警備業務	委託により実施（セコム）

7. 緊急対策

- ・ 近年、国内各地において自然災害が多発しており、さらに安全・安心を重視した環境の創出が必須の課題となっています。災害が発生した際には被害を最小限に抑えるために、平常時から危機管理への備えを徹底することが重要です。すでに横浜市防災計画及び中区防災計画に則り緊急時対応マニュアルを策定しており、施設スタッフへの周知徹底、実践的な訓練を行うことで、災害発生時における適切な対応を実現すべく、万全の体制で臨んでいきます。
- ・ 本施設は「津波避難施設及び帰宅困難者一時滞在施設」として大規模災害発生時の重要施設です。災害時には正確な情報収集、中区庁舎との情報共有、帰宅困難者の受け入れや速やかな備蓄品の配布、公共交通機関の情報提供を迅速に行います。
- ・ 不測事態の発生時は、施設運営スタッフが一次対応を行いますが、中区地域振興課、夜間機械警備会社、中区警察署、中消防署と緊密に連絡を取り、速やかなバックアップ体制を構築します。

8. スタッフ教育

本施設は区民である高齢者、障がい者、児童、乳幼児、外国の方など様々な方が訪れる公共施設です。その利用者に快適で心地よい環境を提供するために、下記のような研修を実施し施設運営にふさわしいスタッフ教育養成を行っていきます。

(例)

- ・コンプライアンス研修
- ・接遇マナー研修
- ・人権研修
- ・基本業務研修
- ・情報公開/個人情報保護研修
- ・サステナビリティ研修

集計に使用するため、この列の数字は変更しないでください。

令和8年度 「横浜市開港記念会館」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	47,080,000		47,080,000		47,080,000	横浜市より
利用料金収入	19,956,000		19,956,000		19,956,000	
指定管理事業収入	8,612,000	0	8,612,000	0	8,612,000	
事業への参加料等	8,096,000		8,096,000		8,096,000	婚礼前撮り撮影、商用撮影等
印刷代	36,000		36,000		36,000	
自動販売機手数料	480,000		480,000		480,000	
駐車場利用料収入			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
自主事業（A型・B型）収入 <small>（自主事業還元分）</small>			0		0	
その他			0		0	
収入合計	75,648,000	0	75,648,000	0	75,648,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	29,765,000	0	29,765,000	0	29,765,000	
給与・賃金	29,765,000		29,765,000		29,765,000	館長・維持管理担当者及び時給職員12名
社会保険料			0		0	給与・賃金に含む
通勤手当			0		0	〃
健康診断費			0		0	〃
勤労者福祉共済掛金			0		0	〃
退職給付引当金繰入額			0		0	〃
事務費	4,871,000	0	4,871,000	0	4,871,000	
旅費	60,000		60,000		60,000	出張旅費
消耗品費	1,350,000		1,350,000		1,350,000	事務消耗品費
会議購い費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	360,000		360,000		360,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	123,000	0	123,000	0	123,000	
横浜市への支払分	123,000		123,000		123,000	目的外使用料等
その他			0		0	
備品購入費	800,000		800,000		800,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	264,000		264,000		264,000	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料			0		0	
リース料	72,000		72,000		72,000	
手数料	1,792,000		1,792,000		1,792,000	HP保守費用、第三者評価受審費用等
地域協力費	30,000		30,000		30,000	協会会員費
事業費	6,535,000	0	6,535,000	0	6,535,000	
指定管理事業費	6,535,000		6,535,000		6,535,000	イベントの講師代、材料費等
管理費	27,075,000	0	27,075,000	0	27,075,000	
光熱水費	12,432,000	0	12,432,000	0	12,432,000	
電気料金	5,899,000		5,899,000		5,899,000	
ガス料金	5,551,000		5,551,000		5,551,000	
水道料金	982,000		982,000		982,000	
清掃費	7,071,000		7,071,000		7,071,000	日常・定期清掃費
修繕費	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
機械警備費	492,000		492,000		492,000	
設備保全費	5,080,000	0	5,080,000	0	5,080,000	
空調衛生設備保守	2,078,000		2,078,000		2,078,000	
消防設備保守	418,000		418,000		418,000	
電気設備保守	452,000		452,000		452,000	
害虫駆除清掃保守	66,000		66,000		66,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	2,066,000		2,066,000		2,066,000	エレベーター、ピアノ、舞台装置保守等
共益費			0		0	
公租公課	3,066,000	0	3,066,000	0	3,066,000	
事業所税	32,000		32,000		32,000	
消費税	3,014,000		3,014,000		3,014,000	
印紙税	20,000		20,000		20,000	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	4,336,000	0	4,336,000	0	4,336,000	
本部分	4,336,000		4,336,000		4,336,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分			0		0	
二一対対応費			0		0	
支出合計	75,648,000	0	75,648,000	0	75,648,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	60,000					
自主事業収支	△ 60,000					

管理許可により行う事業費収入	480,000					
管理許可により行う事業費支出	123,000					
管理許可により行う事業収支	357,000					

2026年度 横浜市開港記念会館 指定事業・自主事業計画書

当館指定管理者が主催・共催する催事に限らず、観光スポット等として多様な利用者ニーズに応える施設特性から当会館の賑やかさを創出する事業、地階の有意な活用等にも寄与すると指定管理者が判断した事業は中区地域振興課に相談の上、貸館業務とは区分し自主事業と位置付けてきたことから、2026年度に実施を予定する自主事業は、前年度に引き続き自主事業の内容により3区分に整理して、自主事業計画書に盛り込むこととする。

※指定管理構成団体が実施する自主事業は主催事業の位置付けとし、構成団体外が実施し、指定管理者が施設の設置目的に合致していると判断した自主事業は共催事業と位置付ける。

※指定管理者主催の各自主事業の実施に伴う支出は、講師謝礼、交通費、備品購入費等の必要経費は見込むが、指定管理3者の人件費、新聞広告費等は高額になりやすいことから、当年度の自主事業収益の全体収支の黒字分を充て、各自主事業ごとの収支見通しには含めないこととする。

1、指定管理者主催の事業

・歴史的建造物ネットワーク組織の構築

【組織づくり】開港記念会館名誉館長、神奈川県歴史博物館長、横浜開港記念館長を呼びかけ人とする歴史的建造物ネットワーク準備会を発足させ、規約案等を決める。事務局は当館指定管理者が担う。一定の賛同施設が集まった段階で初回総会を実施し、年次計画を決める。

【活動想定】各施設管理者を対象とした各施設の魅力発信についての講演会、会員施設の歴史的建造物を巡るスタンプラリーなどの催事を企画・実施する。（通年）

収支見通し：収入0円、支出300,000円

区分：指定事業

・開港記念会館生誕祭

2025年7月1日に開港記念会館が109歳の誕生日を迎えることを記念し、日ごろから当館を利用する常連団体を中心に、区民活動センターまつりにならない、昨年に引き続き無償で全館を開放、発表の場を提供する。
(6月28日実施)

収支見通し：収入0円、支出60,000円。

区分：自主事業A型

・市民向け公開講座の開講

横浜市民を対象とした文化教養等の講座を開講し、指定管理者の神奈川大学による地域社会への知の還元、市民交流の場を提供する。※指定管理者主催のジャックサポーターズ勉強会、他。

(2026 年度内、1 回以上/年)

収支見通し：収入 0 円、支出 150,000 円

区分：指定事業（ジャックサポーターズ勉強会）ただし、講座内容によっては自主事業となる

・開港記念会館納涼ナイトツアー

小・中学生とその保護者 30 組を対象に、夏休み期間中に講堂や地階などを消灯して館内を巡るナイトツアーを実施する。（8 月中、1 回）

収支見通し：収入 10,000 円 支出 10,000 円

区分：指定事業

・「三塔の日」記念イベント

ジャックサポーターズが予定する「ジャックの塔上り」をサポートするとともに、横浜税関の音楽隊コンサート、三塔の 3 枚組写真のフォトコンテスト入賞作品の展示、マスコットキャラクターパフォーマンス（横浜税関カスタムくん、神奈川県金太郎のパフォーマンス）等実施する。

（2027 年 3 月 10 日前後）

収支見通し：収入 0 円、支出 0 円

区分：指定事業

・ジャックサポーターズとの協働事業

協働事業は、ジャックサポーターズの主体性を損なわない範囲で、同会活動が円滑に進むよう当館指定管理者は側面から支援する。

区分：指定事業

- ① 館内案内用リーフレット：ジャックサポーターズ作成のガイド用リーフレット(カラー、半艶) 1 万部の費用を当館指定管理者が補助、見学者へのわかりやすい案内が促進されるよう支援する（通年）

収支見通し：収入 0 円、支出 25,000 円 ※支出は自主事業会計から。

- ② 資料コーナーリニューアル：ジャックサポーターズが中区、当館指定管理者と相談のうえ実施する資料コーナーの展示資料のリニューアルについて、これに関わる費用を当館指定管理者が負担する。（通年）

収支見通し：収入 0 円、支出 150,000 円 ※支出は指定管理事業会計から。

- ③ 若者向け案内リーフレット活用：神奈川大学国際日本学部の学生らが前年度に作成した館内図解の若者向けリーフレットを一定数発行し、必要に応じてジャックサポーターズの案内ガイド用とする。（通年）

収支見通し：収入 0 円、支出 0 円（※印刷経費等は 2025 年度自主事業会計から支出）

- ④ 関内リーフレット制作プロジェクト:神奈川大学国際日本学部の学科専門科目『観光地理情報論』で開港記念会館周辺(関内地区およびみなとみらい地区)の街歩きマップを制作する連携事業を行う。成果物を横浜市開港記念会館と関連付けし、成果物の配布やプレゼン実施を想定する。(通年)

収支見通し:収入0円、支出50,000円

- ⑤ 情報伝達の実践文章講座:ジャックサポーターズの会員数が100名を超える大所帯団体で、会運営で伝達を迅速に行う情報共有のありようが課題の一つになっていることから、館長が、これまでの職業スキルを生かし、情報伝達の向上に役立つ実践講座を行う。(月1回、10回連続)

収支見通し:収入0円、支出0円

・資源活用観光政策事業

多主体協働により新たな観光ガイドプログラム等を創出し、開港記念会館の周辺地域を含めた観光受入品質の向上を図る。

※多主体協働とは、行政、住民、団体、企業、学校などが対応な立場で、互いの特性を生かし、地域課題の解決に向け連携・協力すること。

※観光受入品質とは、観光ホスピタリティーのことで、インバウンドの増加に伴い、インフラ、地域住民との調和など観光地経営の鍵となる。

収支見通し:収入0円、支出0円

区分:自主事業A型(設置目的内)

・重要文化財(建造物)記録保存事業

2025年に引き続き、開港記念会館(主に館内)の実測を実施し、実測データを収集する。

支出見通し:収入0円、支出0円

区分:自主事業A型(設置目的内)

2、当会館利用団体等との共催事業

・ジャズピアニスト・山本真澄さんレジェンドジャズマンのコンサート

ジャズのまち・中区を盛り立てる事業の一環として、横浜ジャズ祭のプレ企画として昨年に続き山本さんとロサンジェルスの本場レジェンドジャズマンも加わってのコンサートに共催。(2026年10月)

収支見通し:収入0円、支出0円

区分:自主事業A型(設置目的内)

・本牧ジャズ祭

横濱ジャズ協会と連携した本牧ジャズ祭実行委主催のジャズ祭を、当会館としても共催する。

(2026年2月)

収支見通し：収入0円、支出0円

区分：自主事業A型（設置目的内）

・地階活用事業

① 展示ギャラリー等としての活用

地階の有効利用の促進のため、神奈川大学の収集資料、市民の収集品等の展示ギャラリーや、資源循環、食品ロス、地産地消等の観点からマルシェ会場、横浜ブランド・地場産品の食品、物品のPRの場などとして、期限を限定して活用する。（2026年度内、1回以上/年）

収支見通し：未定 ※地階の維持管理・清掃費用として1名200円を徴収。

区分：指定事業

ただし、場の提供により収益を生む場合や物販を実施する場合などは、自主事業B型となる。

② ヨガ、フラダンス等としての活用

地階2号室（フローリング床）の有効利用並びに市民の健康増進のため、ヨガやフラダンスなどの団体による活用を引き続き促進する。（通年）

収支見通し：未定 ※地階の維持管理・清掃費用として1名200円を徴収。

区分：指定事業

ただし、貸出業務エリア外のため、混同されないよう、指定管理者の企画事業としての一時的活用の範囲内で行う。

3、婚礼等前撮り、商用撮影等の撮影スポット事業

・婚礼等前撮り

婚礼者等の忘れえぬ思い出となるメモリアル施設として、2025年度実績を踏まえ、2026年度は400～450組の受け入れを目指す。（通年）

収支見通し：収入2,500,000円、支出0円

区分：指定事業

・商用撮影

横浜市のフィルムコミッション事業の一環として、映画、テレビ、CM、ポスター、雑誌、カタログなどの撮影は、2025年度は商業撮影利用規則に基づき本格運用を開始し、軌道に乗ったこ

とを踏まえ。2026年度は、前年度実績と同程度の受諾件数40件を見込む。(通年)

収支見通し：収入5,500,000円、支出0円)

区分：指定事業

以上

自主事業計画書

施設名 横浜市開港記念会館

指定管理者名 ソーシャルアカデミック
マネジメント

1 事業概要

事業名	横浜市開港記念会館生誕祭		
実施時期	2026年6月28日	協力団体	当館利用の常連団体等
実施場所	横浜市開港記念会館全館		
事業の目的	国の重要文化財でありながら市民に親しまれる現役施設としてPRするとともに、みなと横浜を象徴する観光施設となる当館を開放し、広く地域住民のための事業として実施する。(市民の集会その他各種行事の用に供することにより地域活性化に寄与するため、国の重要文化財としての観光スポットの役割に寄与するため)		
事業内容	2026年7月1日に横浜市開港記念会館が開設され109歳の誕生日を迎えることを記念し、当会館を利用する常連団体を中心に、前年に引き続き全館を開放し、講堂では横浜少年少女合唱団や市内の合唱グループ5団体の発表、さらに横濱ジャズ協会ジャズコンサートなど、会議室にあっては特に子どもたちが普段体験できないイベント(レゴブロック、ポケモンカードバトル等)や、普段は入れない時計塔、角塔、地階などを巡るツアー、地階1号室、2号室を活用したヨガやフラダンスの体験会などを実施する。なお、講堂や会議室を利用する常連団体の利用料及びイベント参加の市民の参加費は無償とする。		
成果目標	集客数：2,000名(常連団体+来館者) 満足度：来館者向けアンケートを実施し、実施イベントの満足度、改善の意見等を把握する。		

2 収支計画書

収入		支出	
内容	金額	内容	金額
	0円	ジャズ演奏者出演料等	60,000円
収支差額			
▲60,000円			
還元方法			
収支マイナスのため還元できず。			

※自主事業の収益は、原則として指定管理者に帰属しますが、公の施設で実施する事業であることを踏まえ、見込まれる利益の程度により、両者合意のもと、収益の一部を施設運営等に還元することも可能とします。

3 横浜市記入欄

留意事項
自主事業A型とします。使用する講堂、会議室の利用許可手続きをお願いします。

自主事業計画書

施設名 横浜市開港記念会館
 指定管理者名 ソーシャルアカデミック
 マネジメント

1 事業概要

事業名	ジャズピアニスト山本真澄&本場のレジェンド奏者とのスペシャルコンサート		
実施時期	2026年10月	協力団体	神大、明治学院大のジャズ研
実施場所	横浜市開港記念会館講堂、会議室（3、4、5号室）		
事業の目的	「ジャズの街・ヨコハマ」を支え、地域活性化に寄与する。メインイベントとなる「横濱ジャズプロムナード」は「街全体をステージに」が合言葉であり、随所で行われる同イベントに先鞭をつけ、当館指定管理者は横濱ジャズ協会とともに共催団体となり実施する。（市民の集会その他各種行事の用に供することにより地域活性化に寄与するため）		
事業内容	指定管理者特記仕様書で例示された横濱ジャズプロムナードの関連イベントとして、同プロムナードプレイメントに位置付け実施する。山本氏は米国・ロサンゼルスで初のシングルがビルボード4位を獲得するなど評価が高い。スティービーワンダー、ザローリングストーンズなどと共演してきたサクソ奏者、トレバーローレンス氏と共演し、クオリティーの高い本場のジャズを披露する。		
成果目標	集客数：200名 満足度：来館者向けアンケートを実施し、実施イベントの満足度、改善の意見等を把握する。		

2 収支計画書

収入		支出	
内容	金額	内容	金額
	0円	ジャズ演奏者出演料等	0円
収支差額			
当館は講堂等を全額減免し、出演料は支払わない。山本氏側はこのコンサートをプロモーションし、入場料を音響・照明費、出演料等に充てる。			
還元方法			
収益がなく、還元できず。			

※自主事業の収益は、原則として指定管理者に帰属しますが、公の施設で実施する事業であることを踏まえ、見込まれる利益の程度により、両者合意のもと、収益の一部を施設運営等に還元することも可能とします。しょうめい

3 横浜市記入欄

留意事項
自主事業A型とします。使用する講堂、会議室の利用許可手続きをお願いします。

自主事業計画書

施設名 横浜市開港記念会館

指定管理者名 ソーシャルアカデミック
マネジメント

1 事業概要

事業名	YOKOHAMA 本牧ジャズ祭		
実施時期	2026年2月上旬	協力団体	横濱ジャズ協会
実施場所	横浜市開港記念会館全館		
事業の目的	ジャズが身近にある街おこしイベントとして、「ジャズの街・ヨコハマ」を盛り立てる奏者育成イベント。(市民の集会その他各種行事の用に供することにより地域活性化に寄与するため)		
事業内容	本牧ジャズ祭は、当会館を会場に、中区の当会館直営時代から続くアマチュアバンドの発表の場として定着したイベント。前年は総勢90名の奏者がそれぞれのバンドで発表し、ジャズ奏者のすそ野を広げる役割を担った。当会館指定管理者は、横濱ジャズ協会と連携した横濱ジャズ祭実行委員会主催のこのイベントを半額減免するなどして支援していく。		
成果目標	集客数：200名 満足度：観客アンケートを実施するかは横濱ジャズ協会、実行委と相談する。		

2 収支計画書

収入		支出	
内容	金額	内容	金額
	0円		0円
収支差額			
0円			
還元方法			
収支ゼロのため還元できず。			

※自主事業の収益は、原則として指定管理者に帰属しますが、公の施設で実施する事業であることを踏まえ、見込まれる利益の程度により、両者合意のもと、収益の一部を施設運営等に還元することも可能とします。

3 横浜市記入欄

留意事項
自主事業A型とします。使用する講堂、会議室の利用許可手続きをお願いします。

自主事業計画書

施設名 横浜市開港記念会館

指定管理者名 ソーシャルアカデミックマネジメント

1 事業概要

事業名	資源活用観光政策事業		
実施時期	2026年度内	協力団体	神奈川大学国際日本学部観光コース、日の丸自動車興業（株）
実施場所	横浜市開港記念会館、その他周辺地域		
事業の目的	国の重要文化財としての見せ方を工夫し、観光スポットの役割の向上に寄与するため。 （国の重要文化財としての観光スポットの役割に寄与するため）		
事業内容	多主体協働により新たな観光ガイドプログラム等を創出し、開港記念会館の周辺地域を含めた観光受入品質の向上を図る。 ※多主体協働とは、行政、住民、団体、企業、学校などが対応な立場で、互いの特性を生かし、地域課題の解決に向け連携・協力すること。 ※観光受入品質とは、観光ホスピタリティーのことで、インバウンドの増加に伴い、インフラ、地域住民との調和など観光地経営の鍵となる。		
成果目標	・開港記念会館の周辺地域を対象とした観光ルートの具体的提案等		

2 収支計画書

収入		支出	
内容	金額	内容	金額
	0円	企画・実施経費	0円
収支差額			
0円			
還元方法			
収支0円のため還元できず。			

※自主事業の収益は、原則として指定管理者に帰属しますが、公の施設で実施する事業であることを踏まえ、見込まれる利益の程度により、両者合意のもと、収益の一部を施設運営等に還元することも可能とします。

3 横浜市記入欄

留意事項
自主事業A型とします。講堂や会議室を使用する場合は、利用許可手続きをお願いします。

自主事業計画書

施設名 横浜市開港記念会館

指定管理者名 ソーシャルアカデミックマネジメント

1 事業概要

事業名	重要文化財（建造物）記録保存事業		
実施時期	2026年度内	協力団体	神奈川大学建築学部
実施場所	横浜市開港記念会館共用部、他		
事業の目的	国の重要文化財としての価値継承や保存・活用に寄与するため。		
事業内容	2025年に引き続き、開港記念会館（主に館内）の実測を実施し、実測データを収集する。		
成果目標	・文化財としての悉皆データの部分的収集の蓄積 ・国の重要文化財（建造物）の認知拡大		

2 収支計画書

収入		支出	
内容	金額	内容	金額
	0円	企画・実施経費	0円
収支差額			
0円			
還元方法			
収支0円のため還元できず。			

※自主事業の収益は、原則として指定管理者に帰属しますが、公の施設で実施する事業であることを踏まえ、見込まれる利益の程度により、両者合意のもと、収益の一部を施設運営等に還元することも可能とします。

3 横浜市記入欄

留意事項
自主事業A型とします。講堂や会議室を使用する場合は、利用許可手続きをお願いします。

令和8年度 維持管理計画書、再委託業者一覧

項目	業務	内容	再委託会社	年回数	実施月	令和8年												令和9年		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
電気・機械設備	空調機点検 (GHP)	機能点検	東京ガス	1回	11月								○							
	空調機 (GHP・EHP) フロン点検・フィルター清掃	フロン点検、フィルター清掃	ニッタエアソリューションズ	4回	4・7・10・1月	○			○				○				○			
	送排風機点検	機能点検	ニッタエアソリューションズ	1回	10月								○							
	換気扇清掃・給水タンク保守点検	換気扇清掃・給水タンク保守点検	ニッタエアソリューションズ	1回	1月												○			
	排水槽清掃	排水槽清掃	シー・アイ・シー	2回	8・2月						○							○		
	自家用電気工作物点検	機能点検(遠隔監視含む)	関東電気保安協会	毎月	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
設備機器管理	グランドピアノ点検・調律	点検・調律	ヤマハミュージックジャパン	2回	6・11月			○					○							
	舞台関係点検	機能点検	ステージシステム	1回	9月							○								
衛生管理	害虫防除作業	害虫防除作業	シー・アイ・シー	2回	6・12月			○							○					
	飲料水水質検査	水質検査	シー・アイ・シー	2回	7・1月				○							○				
	空気環境測定	空気環境測定	シー・アイ・シー	6回	奇数月		○		○		○		○		○		○			
建物等	消防設備点検	機器点検・総合点検	プロデイ	2回	6・12月			○							○					
	防火対象物点検	防火対象物点検	プロデイ	1回	12月										○					
	非常用発電機負荷試験	負荷試験	プロデイ	1回	12月										○					
	エレベーター点検	機能点検	フジテック	毎月	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	自動ドア点検	機能点検	神奈川ナブコ	3回	5・9・1月		○					○				○				
清掃等	日常清掃業務	日常清掃	共立ビルサービス	常時	毎日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	定期清掃	定期清掃	共立ビルサービス	6回	偶数月	○		○		○		○		○		○		○		
	ガラス清掃	ガラス清掃	共立ビルサービス	4回	5・8・11・2月		○				○			○			○			
	窓枠サッシ清掃	窓枠サッシ清掃	共立ビルサービス	1回	11月									○						
	照明器具清掃	照明器具清掃	共立ビルサービス	1回	9月							○								
その他	植栽管理	植栽剪定	グリーンプラザ	1回	10月							○								
	廃棄物処理	一般廃棄物処理	藤ビルメンテナンス	常時	毎日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	機械警備	機械警備	セコム	常時	毎日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

※必要に応じて適宜行を追加し、記載してください。

令和8年度（横浜市開港記念会館）自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組（改善計画）	自己評価
利用者サービス	HP、Instagram を活用した情報提供			
	催事案内による利用者への協力			
	ロケットカードの継続配布			
	区民及び市民等を対象とした事業の実施			
	地域団体・利用者との連携事業			
	ジャックサポーターズとの協働事業			
	空き室や地階の有効活用			
	婚礼前撮り撮影・商業撮影の利用回数 450 件			
	商業撮影の利用回数 40 件			
	歴史的建造物ネットワーク組織の構築			
オリジナルグッズの販売				
業務運営	スーパーバイザーモニタリング（月1回）			
	講堂の稼働率（71.0%）			
	会議室の稼働率（71.0%）			
	人員配置			
	館長1名、維持管理担当者1名、運営スタッフ3名、受付スタッフ9名			
	年間計画表に基づいた施設維持管理業務の実施			
	緊急時対応マニュアル・緊急連絡網の活用			
	防犯・防災マニュアルの運用継続・改善			
消防・防災計画に基づく点検・訓練の実施				
職員育成	ノーマライゼーション研修（年1回）			
	人権研修（年1回）			
	基本業務研修（採用時）			
	情報公開/個人情報保護研修（年1回）			

	サステナビリティ研修（年1回）			
財 務	利用料金収入の予算達成（19,956千円）			
	自主事業収入の予算達成（8,096千円）			
その 他 （上記4 つの視点 以外の項 目があれば追記）	環境負荷低減を配慮した物品調達			
利用者等 の 意 見	ご意見箱の設置（随時） ホームページ問い合わせフォーム（随時） 利用者アンケート（年1回）			

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載